



京都市地域企業未来力会議

News Letter

令和3年

17号

9月3日（金）令和3年度 第1回京都市地域企業未来力会議を開催しました。緊急事態宣言のなか、ウエダ本社北ビル2階 TRAFFICより登壇者の発表を配信し、オンラインで開催。本日は7組のビジネスアイデアの発表に加え、6組の地域企業や行政から議論テーマの発表を行いました。



開催挨拶

門川大作

京都市長

京都市地域企業未来力会議も6年が経ちました。「京都・地域企業宣言」は企業を規模で評価せず志で評価するというもの。地域の持続可能性が企業の持続可能性にもつながる。しかし、コロナを通じて様々な社会課題が顕在化した。これは新しい社会づくりの機会でもある。これまでも京都は新しい制度をたくさん生み出してきた。今、若い人を中心に活動し活発な議論を広げていただいている。皆さんが社会をリードしていくことを期待している。経済会のトップの方たちや世話人の方々を含め、たくさんの応援に感謝している。

京都市はコロナと財政危機が深刻。持続可能な財政にするため行財政改革計画を策定。魅力あふれる京都を皆さんと一緒に未来につないでいくための計画。京都の明るい未来を共に切り開いていきたい。本日も未来に向けて様々な提案を楽しみにしている。

京都府中小企業団体中央会

会長 阪口 雄次

新型コロナウイルスの影響により、直接お会いすることができず残念だが、開催できることに意義を感じるとともに、関係者、事務局のご準備にも感謝申し上げます。

この京都市地域企業未来力会議も今年で6年目。設立当初、「他人や行政のせいにしても始まらない。あらゆるセクターのバックアップのもと、地域企業が現場目線で連携し、京都を元気にしていきましょう」と講演した記憶があります。地域に根ざす地域企業の方々が結集すること。今こそ助け合いの精神の本領を発揮する機会ではないかと感じています。産学公金が連携し、一緒に京都の明るい未来へ進んでいきましょう。

【第1部】 地域企業からビジネスアイデアを共有する時間

進行：風間美穂（一般社団法人リリース）

第1部は今年度のビジネスアイデアの発表を行いました。オンライン参加者からはQ&Aや投票機能により、応援などの意思表示や質問などをいただきました。後日発表者へお届けし、自発的な意見交換をサポートする機会を別途設けます。

*発表動画はQRコードからご覧いただけます。



01 ごみカフェ KYOTO | 株式会社夢びと 中田 俊 氏



手軽にカッコよくオシャレに生ゴミを堆肥に変える「LFCコンポスト」を地域企業を中心に街中で活用し、生まれた堆肥を農家や必要とされる人につなぐ取り組みを進めている。知識のみになりがちなSDGsを実践できる選択肢を提案していきたい。ごみカフェKYOTOは10月からスタートする。「循環パートナー」である小さいお店や百貨店、金融機関と共に、京都のまちのCo2排出量削減に取り組んでいきたい。様々な企業の関わりを広げること。これまで繋がっていなかった方々とのつながりを期待しているといった内容の発表があった。

02 「幸せなワークデザインラボ京都」(仮) | 大原社会保険労務士法人 和田 紘子 氏



京都の地域企業に所属する次世代リーダーに向けた「共創の場」、幸せな「ワークデザイン」に向けての実践を促進するプログラムを考案した。地域企業のリーダーは、自分自身や仲間が本当に望んでいる理想の未来を知り、チームで力を合わせて進む必要があるのではないかと考えている。学びの場は江戸時代の私塾をイメージし、陽明学で心のあり方を学び、短期集中型で実践を通じ知識に変え、会社を超えた地域企業のリーダー同士のつながりを作っていく。運営スタッフや会場の提供、メディア運営協力の人材紹介など、本事業に関心のある地域企業への呼びかけがあった。

03 みんなのオンライン道場 | 希望結社ツクラム 西森 寛 氏



世の中のミスマッチを無くし、子供たちの可能性と選択肢を広げていくことを目指し、小中学生向けステージミッションクリア型の新しい探求スクールを考案した。子供たちに向けて3ヶ月から6ヶ月、一人ひとりの好きや興味の種を見つけ、さまざまな人生の師によるミッションやバトルを経験し、自らの道を堂々と歩むことを目指す場。子供達のわくわくしたい夢中になりたいマインドを醸成していきたい。地域企業のそれぞれの強みや得意を提供いただき、探求ステージやミッションを共創できる地域企業への呼びかけがあった。

04 ベイビーシアターキット | 合同会社あかちゃんと一緒にせかいをつくる 弓井 茉那 氏



特に0-3歳の子育て世帯が、文化芸術の観客からこぼれ落ちた存在であることを背景に、弊社は、赤ちゃんとおかあさんを対象にしたワークショップを提供している。大人の鑑賞とは異なる特別な体験があり、子育て自体が変わるものと私たちは考えている。この度、「おうち」で劇場体験《乳幼児のためのベイビーシアターキット》を考案した。劇場に足を運んでいただくのではなく、おうちで劇場体験を行うものである。今後、保育園・幼稚園での展開の方法のアドバイスや、キットに使用する素材提供について参加する地域企業への呼びかけがあった。

05 殊なり。 届く特別なひととき | 株式会社わらび商店 松井 一 氏



お店の公式レシピと食材が届くサービスを考案した。“殊なり”とは特別や格別という意味。コロナ禍での外食が厳しい中で、本物をつくり、家族に提供したいニーズがある。簡単、手軽、安価なものが広がる社会で、あえて逆の価値観で、本物の厳選素材が届く、届けるといったこだわりの体験を提供したい。現在、賞味期限20分のわらび餅の自宅キットを開発している。飲食店の一つの収益源になることや知名度向上等のきっかけに寄与していく。唯一無二の“殊なり”体験の提供や、逸品をお持ちの飲食店の紹介について投げかけがあった。

06 フードロス・アライアンス | 株式会社リーフ・パブリケーションズ 上山 賢司 氏



弊社は京都で25年地域情報誌を発行している。フードロスで生まれた食材の活用を、お店同士でコラボレーションする試み「フード・ロス・アライアンス」を始めた。1社だけでなくパートナーシップで解決する時代。エシカルマインドでクリエイティブな飲食店を中心に[メディア]、[一次生産者]、[流通]、[産廃処理業者]、[学者] etc. で繋がり、楽しくポジティブな食のSDGsを共創。フードロスの活用の場や方法が溜まり、社会システムに育て、若者に食の未来を感じてもらいたい。共に勉強しあい背中を押し合う共創について呼びかけがあった。

07 向かいの星付きレストラン | OneRiceOneSoup株式会社 中東 篤史 氏（代理：後藤 氏）



弊社は人の琴線にふれる食の経験や日本が築いてきた食文化を引き継ぐことを目指し、飲食店や商品開発を展開している。コロナ禍において休業に追い込まれる飲食店や在庫過多になる生産者の問題がある。一方、家の食事を充実させたいというニーズがある。料亭に行かなければ食べられない一品をオンライン販売していく。生産者や工芸などの物語と一緒に映像で届け、異業種とのコラボや飲食店を活用したイベントも展開。「おうちごはん」を京都の食文化にしていきたい。様々な協業や連携ができるパートナー企業の呼びかけがあった。

【第2部】地域企業や行政から議論テーマを共有する時間

第2部は地域企業や行政から議論テーマを発表を実施しました。今回は第一部と同様、発表後の意見交換は実施せず、後日の地域企業応援会枠での各テーマのディスカッション日を設け参加を募るほか、オンラインシステムのQ&A画面に共感や応援コメントを記入いただきました。

*発表動画はQRコードからご覧いただけますが、10・12の議論テーマの動画はありません。



08 京都府中小企業団体中央会助け合い隊事業「お困りごとプラットフォーム」

京都府中小企業団体中央会 助け合い隊 隊長 内藤 克敏 氏



中央会は小規模事業者で組織する中小企業組合等の専門支援機関。新型コロナウイルス感染症と社会経済活動との両立に向けた中小企業組合「中小企業組合「助け合い」推進宣言3か条」を採択。これに基づき「助け合い隊」を結成し、業界を超えた支援を検討中。

第一弾として、お困りごとプラットフォームを進めている。過剰在庫や新商品開発など、様々なお困りごとを業界を超えて解決を導く仕組み。経験豊富なコーディネーターが対応する。今年中に専用サイトも公開予定。現在16件の事例が生まれている。個々では対応が困難なことでも、業界の垣根を超えた連携支援を行うことで新たなビジネスチャンスを創出していく。

09 京都経済の基盤となる文化価値を増やしていきましょう！

一般社団法人アーツシード京都 あごう さとし 氏



100年続く劇場を目指し、作品をつくる、まちをつくる、ひとをつくる劇場を作った。2023年度に京都市立芸術大学の移転も予定され、京都駅直近に新たなアートゾーンが誕生している。地域課題の解決にも寄与することを目指し、東九条のまちづくり、南岩本公園整備事業への参画のほか、京都の民間文化施設と京都信用金庫による基金の設立や、ビジネスパーソン向けのアートスクール開講にむけての準備を進めている。京都経済の基盤となる文化価値を増やしていくため、東九条で一緒にチャレンジしませんか。京都全体で1000年を紡ぐまちづくりをしませんかと地域企業への呼びかけがあった。

10 地域企業×生物多様性 | 京都市環境政策局環境管理課 宮田 孝司 氏



生態系から受ける恵みによって、私たちの生活の暮らしは成り立っており、生物多様性の保全が重要である。京都市生物多様性プラン(2021-2030)では、生物多様性のために「行動」すること、持続可能に使っていくことが重要とし、地域企業は、事業活動による生物多様性への影響や、製品サービスの提供が生活者のライフスタイルの変換の一助につながるなど関わりが深い。今後、生物多様性保全の担い手宣言制度（仮称）の創設を予定しており、生物多様性のためにできる行動例を示す。参加や行動のために必要な意見など呼びかけがあった。

11 U35-KYOTO | U35-KYOTO プロジェクトマネージャー 原田 岳 氏



U35-KYOTOは、概ね35歳以下の多様なプレイヤーが対話し、U35の視点で「これからの京都」を描く企画。2021~2025年の指針となる京都市基本計画を軸として、この世代が取り組む事業や活動を発信している。今年度はエリアに捉われないU35世代の町内会のようなコミュニティを展開している。

U35-KYOTOでは「財政破綻対策」に着目している。市民は行政にまかせきりになっているのではないかと。行政施策が届いていない領域の社会課題の解決や行政と民間事業者等との連携のプラットフォームの構築のほか、非効率になっている行政施策への解決策を提供していきたいと考えている。地域企業の社内のU35世代の参加や、共創、協賛などの呼びかけがあった。

12 公民連携による持続可能な公園利活用について

京都市建設局みどり政策推進室 葉山 和則 氏



公民連携で持続可能な公園利活用を考えていきたい。利用者の少ない公園が増えてきている。ほとんどの公園は京都市が安全優先で管理しており、限られたマンパワーや危機的な財政状況のため、行為の制限が多いなど理想的な活用はできていない。公園の個性を生かし、柔軟な利活用によりポテンシャルを最大に発揮されることを目指し、今年度から「公民連携公園利活用トライアル事業」をスタートさせた。採択された企業の提案は営利だけでなく全て地域課題の解決の要素が含まれている。事業を行いながら、公民でその先の理想像も一緒に描いていきたい。公園利活用のアイデアの提案の呼びかけがあった。

13 未来力会議から地域企業の会議をつくりませんか？

株式会社 MIYACO 代表 中馬 一登 氏



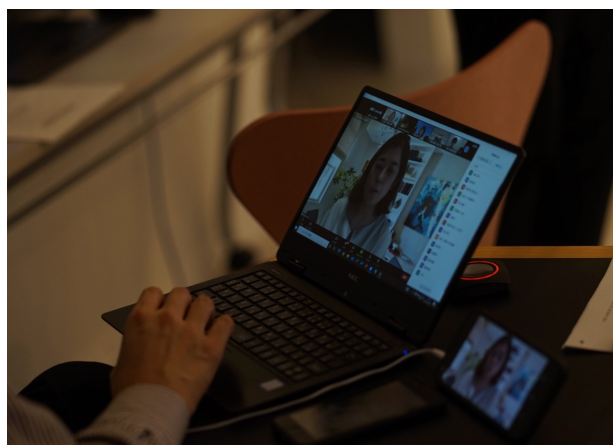
京都市地域企業未来力会議を進化させたい。これまでの未来力会議ではニーズや助言、補助金や支援策を通じ、企業間連携による課題解決につながるような新たなビジネスプランの創出を進めてきた。この数年で、企業間連携は活発になるほか行政課題の解決に資する取り組みが生まれている。また「京都・地域企業宣言」や「地域企業の持続的発展の推進に関する条例」「京都市輝く地域企業表彰制度」など京都の内外に発信する試みも広がっている。地域企業同士でこの仕組みを運用していくこと、そして全国、世界に伝えていくことを目指したいと考えている。賛同する地域企業への呼びかけがあった。

【第3部】 共有された第2部のテーマについて意見交換する時間

第2部で発表のあった「地域企業×生物多様性」についてのディスカッションを行った。現在予定している行政施策における地域企業にとってのメリット訴求などについて、活発な意見交換が行われた。

ご参加いただいた地域企業からは、地域企業の参加メリットを模索するのではなく、楽しさから行動することや、地域企業と取り組み自体を一緒に考えていくプロセスを設けること。もっと先の消費者への新しい視点の生み方や届け方に注目するなどの提案があった。

また企業を動かすためには、思い切った視点も必要。取り組んだ企業への税制優遇などにより、全体的に動かしていく視点も必要ではないかといった意見もあった。



●事務連絡

今年度の「京都市地域企業未来力会議」について

第1回はビジネスアイデア・議論テーマの発表を中心にオンラインで開催。次回、第2回の日程は令和4年3月を予定。

第1回未来力会議、当日の映像について

9月3日の地域企業未来力会議の発表動画の一部はYouTubeでご覧になれます。
<https://youtube.com/playlist?list=PLzdqLz5A4bzsAyu4f4bXQQmqCjkQXPUql>



※ビジネスアイデアと地域企業や行政による議論テーマの意見交換

10月1日、10月22日、11月19日の3日間に分けて「地域企業応援会」の枠を活用し、発表者毎の意見交換を予定しています。詳しくは後日掲載の地域企業応援プロジェクトWEB「地域企業応援会」ページをご覧ください。

令和3年度「京都市 輝く地域企業表彰」について

京都市では地域に根差して企業活動に取り組まれる事業者を表彰する「京都市 輝く地域企業表彰」の対象表彰者を募集しています。自薦、他薦を問わず御応募いただけます。

■対象：本市内に本店を有し、条例に掲げる地域企業の理念に則して、地域に根差した企業活動を営む事業者

■募集期間：募集中～9月17日（金）午後5時半まで

京都市地域企業表彰 検索 <https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000286454.html>

京都市中小企業等再起支援補助金について

マスク・アルコール・パソコン等の購入、従業員のPCR検査、販促チラシの作成、機器・設備の導入など事業継続に幅広く活用できます。3分の2以上は府内で購入等がなされた経費とすることなどの要件があります。

事業経費の4分の3以内（上限額は法人・団体15万円、個人事業者10万円）

<https://kyoto-city-chushokigyo-hojokin2021.org/request>

新型コロナウイルス感染症対策「事業者支援ナビ」について

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響によってお困りの企業のみなさんが利用できるさまざまな支援制度情報を提供しています。お困り状況や要望に応じて、融資や助成金などのお金の支援や、経営に関する相談など役立つ情報を探すことができます。

<https://kyoto-city.wincovid19.jp/>

地域企業応援プロジェクトWEBについて

地域企業応援プロジェクトWEBについて 地域企業未来力会議の内容や、地域企業のアイデアの具体化を支援する、「地域企業応援会」等の情報を掲載しています。是非アクセスしてみてください。

京都 地域企業応援プロジェクト 検索 <https://community-based-companies.kyoto/>

発行：京都市地域企業未来力会議 事務局（京都市産業観光局 地域企業イノベーション推進室）

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

TEL 075-222-3329 FAX 075-222-3331 URL <https://www.facebook.com/kyotoshichushokigyo/>

MAIL chiikikigyo@city.kyoto.lg.jp